

日立市の冬

キラキラと輝く広場のイルミネーションに酔う



新都市広場のイルミネーション



日立駅と太平洋



かみね公園

[写真提供:日立市]

出会い、ふれあい、憩い：
人々が集う広場には
さまざまな文化が生まれる

ヨーロッパの都市には地域ごとに広場がある。人々は日光浴をしたり、飲食をしたり、思い思いの時間を過ごし、集会やマーケット、イベントなども開かれる。石畳が敷き詰められた日立シビックセンター新都市広場は、イタリヤの広場(ピアッツア)を感じさせる場所。ステージがあり、市民オペラも開催される。

現在は冬の恒例行事「ヒタチスタライイトイルミネーション2023」が開催されている(新年8日まで)。新都市広場と日立駅中央口前広場を会場に、約17万球の光が幻想的な光景を創り出し、訪れる人々をロマンチックな気分浸らせる(日立市は高台からの夜景も美しい)。

日立は徳川光圀公が「日の立ち昇るところ領内」と讃えた場所。長い海岸線があり、鵜の岬や浜の宮ロードパーク、古房地公園などは、初日の出を見に訪ねたい場所だ。

市内には由緒ある神社も多い。近年、パワースポットとして全国から注目を集める御岩神社は188柱をまつり、天然記念物の御神木「三本杉」や御岩山への登拝など見どころも多い。初詣で新しい年の幸せを祈ろう。

日立市冬のコース

海と山に挟まれた独自の地形から、夏は涼しく、冬は暖かい気候が自慢の日立市。長い海岸線があり、初日の出スポットも多い。

D 日立市の夜景



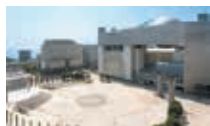
海と山に挟まれた地域で産業が発展した日立市。イルミネーションだけでなく、工都の灯り、日立駅、港湾など夜景スポットは多い。2019年には「かみね公園からの夜景」が日本夜景遺産に選ばれている。

A かみね動物園



太平洋を臨む高台に、レジャーランドや遊園地、動物園などがある憩いの場所。動物園は近年、動物をより身近に感じられるよう、さまざまな工夫を行っている。

B 日立シビックセンター



新都市広場に隣接し、巨大な球形ドームがシンボル。プラネタリウムや音楽ホール、図書館などがある。遊んで学べる体験型施設の「科学館サクリエ」も人気。

C 御岩神社



霊山「御岩山」の麓にある神社。徳川光圀公が大日本史編纂を祈願した奥宮「かびれ神宮」は境内から30分ほど山を登る。

かみね動物園マスコットキャラクター

「かみねっちょ」

体はカバ、羽はミズク、しっぽはネズミ。子どもと「かみねバーガー」が好き。かみね動物園のマスコットだが、さまざまな形で日立市を応援している。



日立市の概要

「ものづくりのまち」として発展してきた工都。阿武隈山地の山々を仰ぎ、太平洋を臨む自然環境が市民の誇り。近年は国道6号の拡幅工事が進むなど、アクセスの向上が図られている。

名産名品

さくらたこ

日立市内で漁獲され、市内の港に水揚げされるミスダコ、ヤナギダコの総称。日立のタコはおいしいことで知られ、市のさかなにも選定されている。



●お問い合わせ/日立市広報戦略課 ☎0294(22)3111(代) ●企画・制作/読売茨城広告社 ☎029(244)5555

